



特定非営利活動法人ええうた工房
混声合唱団フロイデンコール

第5回

震災を忘れないメモリアルコンサート

2011年 2月12日(土)

午後2時開演

兵庫県立尼崎青少年創造劇場

ピッコロシアター大ホール

ご あ い さ つ

NPO法人ええうた工房 理事長 笠井明

本日はご来場ありがとうございます。私たちは音楽を通じての社会貢献や文化向上に向けての活動を行っています。阪神・淡路大震災の経験を忘れずに語り継いで行こうという「震災を忘れないメモリアルコンサート（ひょうご安全の日推進事業）」も第5回目を迎えました。1月16日にも尼崎での追悼イベントでは「千の風になって」などを歌いました。

また、去年はボランティア演奏も行ない、演奏を喜んで頂き、年末には尼崎ステップアップ事業として「第2回みんなで歌おう歌声パーティー」を開催し100名以上の方と「歌声」を楽しみました。本日もたくさんの方のご用意していますので、最後までお楽しみください。

「兵庫安全の日推進事業」とは

阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れず安全で安心な社会作りを進め、国内外の災害の被害を軽減する為の事業です。（「ひょうご安全の日を定める条例」は2006年4月1日に施行されました）

Program

〈 1 部 〉

混声合唱とピアノのための

「音楽のとき」

川崎洋 作詩 新実徳英 作曲

1. 遠くに
2. ギターを抱いて
3. 都合のいい哲学に
4. 自分の声を
5. 雀のさえずりも

〈 2 部 〉

『Krie』

レイフ・ヴォーン・ウィリアムズ 作曲

『Salve Regina』

J.ラインベルガー 作曲

『Ave Mria』

エドワード・エルガー 作曲

『Ave Verum Corpus』

千原英喜 作曲

『Stabat Mater』

フランツ・シューベルト 作曲

.....休憩15分.....

〈 3 部 〉

青島広志編曲「日本のうた」より

『夜明けのスキヤット』	山上路夫 作詩 いずみたく 作曲
『真夜中のギター』	吉岡治 作詩 河村利夫 作曲
『亜麻色の髪のエ女』	橋本淳 作詩 すぎやまこういち 作曲
『ブルー・シャトー』	橋本淳 作詩 井上忠夫 作曲
『虹と雪のバラード』	河邨文一郎 作詩 村井邦彦 作曲

《プログラム・ノート》

【1部】 混声合唱とピアノのための「音楽のとき—6つのワルツ」

『ヨハン・シュトラウスのシンフォニック・ワルツの向こうを張って、というわけではありませんが、川崎さんの6章から成る「音楽のとき」を見つけた時、ぱっとひらめいたのが、この詩の全てをワルツでつづるというアイデアでした。ウィンナワルツのキッシュであり、時にはもっと前のウィーン育ちの作曲家たちのパロディーも含まれている、そんな曲を作ろうと思ったのです。全体は私の独創とないまぜになっています。そのあたりを判別しつつ「ア、これってアレじゃない?!ウフフ」などと楽しんでいただければ作曲者として嬉しく思います。私自身、作曲しつつ「ワハハ、コリャ傑作」と笑ったりしたもんです。副題の6つのワルツは、ワルツが6曲並んでいるということではありません。全体が1つのまとまりとして構成され、それが続けて演奏される6章仕立てとなっているとお考えくだされば良いでしょう。

「ワルツ大好き人間」のためのオリジナルの日本語で楽しめる合唱曲、とは自画自賛の弁ですが、そのような曲になったと私は思っています。』(新実徳英による、初演のプログラムより)

【2部】 祈りの曲 いろいろな教会音楽

『Krie』	ミサの通常文の一つ。「憐みの讃歌」
『Salve Regina』	4つの「聖母マリア讃歌」の一つ
『Ave Mria』	マリアへの祝福の言葉と聖エリザベトの祝辞を組み合わせたもの
『Ave Verum Corpus』	聖体を賛美する歌
『Stabat Mater』	十字架にかけられたイエスの足元で聖母マリアがわが子の死を嘆く悲痛な詩。

キリスト教と音楽の関わりは旧約聖書の時代を含めれば2000年以上に及びます。「グレゴリオ聖歌」の時代から数えても1000年以上です。本日は、教会音楽の長い歴史の中の1800年代から現在までの新しい曲をお送りいたします。

【3部】

「題名のない音楽会」や「誰でもピカソ」などでおなじみの青島広志が10年くらい前に「曲がり角の歌」や「角を曲がった歌」として1960年代の曲を合唱にアレンジしたものです。何が曲がり角でどのように曲がったのかはうまく言えませんが、何となくそんな雰囲気を感じさせる曲です。青島さん特有のユーモアと遊び心と高い音楽性が随所にみられるアレンジで結構難しい曲でした。「亜麻色の髪のエ女」などは名曲を伴奏にちりばめるなど分かりやすい仕掛けもあります。シンプルに楽しんでかつ懐かしんで下さい。

《特定非営利活動法人ええうた工房》

2006年5月に認証された特定非営利活動法人(NPO)です。音楽文化全般の普及啓発に関する事業を行い、地域に根ざした市民参加型の音楽文化の発展に寄与することを目的とする法人です。現在は混声合唱団フロイデンコールを中心に演奏にボランティアにと活動しています。正会員と賛助会員を募集していますので、詳しくはホームページをご覧ください。

(<http://www.ne.jp/asahi/freudenchor/amagasaki/>)

《混声合唱団フロイデンコール》

NPO法人ええうた工房が主宰する合唱団。条件が合えば何処へでも行く地道な活動をおこなっている。歌いたい人と聴きたい人のコラボレーションを目指している。約1~2ヶ月に一度はイベントなどに参加しています。とにかく歌うことが好きな方で練習にまじめに取り組む方でしたらどなたでも入れます。入団の条件は特にありません、ぜひ一緒に歌いましょう。お待ちしております。



【宮脇貴司先生 プロフィール】

私立大分高等学校音楽科卒業。武蔵野音楽大学卒業。

卒業演奏会に出演。

秋田大学教育学研究科修了。

2002年大仙市大曲新人音楽祭コンクール入賞。

森原京子、松浦豊明、花岡千春、B.ベクテレフ、A.ピクル氏の諸氏に師事。



【仲尾佳代子先生 プロフィール】

大阪芸術大学演奏学科ピアノ専攻卒業、同大学卒業演奏会に出演。ピアノを横田新子、アゴナシュ・ジョルジュ、チェンバロを河野まり子の各氏に師事。

在学中より伴奏ピアニストとして活動するとともに、多くの合唱団での宗教曲の伴奏を通じてバロック音楽に関心を寄せ、2002年より栗形亜樹子氏に師事し17世紀のチェンバロ音楽を中心に学ぶ。また、オルガンを中山幾美子氏に学ぶ。

これまで、声楽リサイタルや合唱コンサートの伴奏など、ピアニストとして各種コンサートに出演するほか、J.S.バッハ「マタイ受難曲」のチェンバロパート、ドブログス「ミサ」のピアノパート、J.ラターの「マニフィカート」のオルガンパートでオーケストラとの共演を重ねている。

現在、複数の合唱団で伴奏ピアニストを務める。

【ステージ・メンバー】

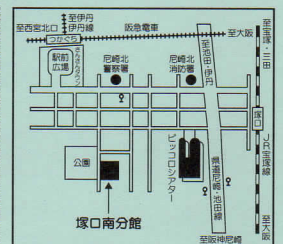
Sop.	有本 佳世	江藤 佐紀	笠井美知代	島 梨江子
	鈴木久美子	寺岡 祥子		
Alt.	藍家 早苗	阿蘇 千春	川上 愛恵	萩本美佐子
	深貝みどり	福田 恭子	森木久美子	
Ten.	笠井 明	岸本 信雄	吉武 俊行	
Bass.	有本 裕之	鈴木 浩司		

----- 混声合唱団フロイデンコール -----

練習日 毎週木曜日 午後7時～9時（塚口南分館など）

合唱指導 宮脇貴司

練習会費 月3000円



お問い合わせメール kasaiakira2001@yahoo.co.jp

お問い合わせ携帯 070-6527-2545（笠井明）